



「かえるの池(部分)」大西達也
詳細は裏面 >>

今月の Leading company 障がい者雇用の先進企業紹介



障がい者を積極的に採用する(株)東海化成
社内に6名もジョブコーチがいるのは珍しい

今回は、自社内に6名のジョブコーチを在籍させ、積極的に障がい者雇用をすすめる株式会社東海化成にお邪魔しました。同社は一五〇〇種類もの農業園芸用資材を製造販売し、業界トップクラスの規模を誇る企業。53名の従業員のうち、障がい者は6名です。

27年前、たまたま縁故で障がい者を受け入れたことから東海化成の障がい者雇用がスタートしました。その後、徐々に人数が増えますが、受け入れ体勢は今のようになっています。補助作業のみの仕事でしたが、それでも現場の工場では苦勞が絶えなかったそうです。

障がい者雇用で大切なことは、本人の働く能力を把握し、もっている能力を最大限に発揮するための環境づくりや受け入れ体制です。そのために、働く障がい者をサポートし、就職や職場適応など安定した就労を支援するのがジョブコーチ(職場適応援助者)です。

現場で苦勞が続いた
受け入れ体勢のない時代

ジョブコーチ支援が変えた、障がい者雇用のかたち

株式会社東海化成 美濃市 障がい者雇用数6名

しかし配置型のジョブコーチ支援だけでは、時間的な制約などもあり、「障がい者を雇用するなら、社内で最後まで責任をもって支援する」と決め企業内籍型※ジョブコーチに切り替えました。

一〇一〇年に景山常務が研修を初めて受講。今年で6人目のジョブコーチが誕生しました。全員が日常の業務に追われながらも、ジョブコーチとして障がい者のサポートや現場との調整を行っています。

(裏面へ続く)

「ジョブコーチに『戦力になるまでに、とにかく時間がかかる』と言われました。実感するまで大変でしたが、一年半じっくり付き合っ、戦力的にも大幅に向上して、安心したのを覚えています。」

こう話すのは、常務取締役の景山さん。

「ジョブコーチの最初のアドバイスは「じっくり時間をかけて」」



次々に生産される園芸用ポットを正確にまとめる
障がい者が機械の調整まで行う場面も



左から庄司工場長、ジョブコーチの中島さん、景山さん、野田さん、それを支える総務部の野村さん

同社では現在、障がい者が個々にワンステップずつスキルアップできる取り組みもすすめており、職域の拡大を障がい者雇用の今後の課題として捉えています。

「また「障がいのある人と一緒に働く上では、根気よく気長にという点も大切だと、現場で実感できたと思います。できなくてもすぐに諦めないこと。一週間、一ヶ月と長いスパンで見ることですね」とも話します。

「障がい者一人ひとりの能力や困っていることを現場全員が把握するのは大変ですし、自分たちにも日常の作業がある。以前の環境では障がい者の方の受け入れは不安も大きかったですが、ジョブコーチ支援がスタートしてからは私たちも随分助かっています。障がい者がそれぞれに合った場所での力を発揮できるように、しっかりと任せられる仕事ができたとするのは何よりの成果です」と話すのは、工場長として現場で指揮を執る庄司さん。

**現場にも根付いた
長いスパンでの成長の見守り**

ジョブコーチの支援を上手く活用し、現場力・生産性の向上へと繋がっていました。次回は、現場のジョブコーチと、それを支える同社の取り組みについてお伝えします。

障がい者を雇用する上で気になる点のひとつに生産性と賃金のバランスがあります。その点を景山常務にうかがいました。「生産性の足りない部分を助成金で補うという考え方もありますが、長期的に見るとそれでは無理が大きくなります。やはり個々の目標やゴールを定め、それに向かって向上できるよう努力することは大切です。目標に向かう障がい者をどう支えるのか。それを考え実践するのがジョブコーチの大切な役割です。弊社では実際に現場のオペレーターが知恵を出し合って仕組みを考え直しています。障がい者が活躍できる環境を作ることが、最終的には生産性や品質の向上につながるかと考えているんです。障がい者雇用は単体の問題ではなく、社内全体の取り組みだと思えますね」

**障がい者雇用を通して
現場力の向上を目指して**



障がい者が活躍できる環境を作り生産性を向上させる

※ジョブコーチには、地域障害者職業センターに配置された「配置型」と、障がい者を雇用する企業自体が雇用する「企業在籍型」があります。

SCHEDULE スケジュール

情報交換会×ワークショップ (岐阜市)

現場ならではの障がい者雇用のアイデアを共有できると好評の情報交換会と、障がい者の手順書作成を体験できるワークショップを同時開催。

9/14(木) 13:00~16:30 ハートフルスクエアG

はたらく障がい者の交流会 (関市)

障がい者が、仲間とともに仕事について話しあう交流会。面接の悩みや、自分らしく働く方法について考えます。

9/16(土) 9:30~11:30 わかくさ・プラザ

※スケジュールは変更になる事があります。

Art & Handicapped



「かえるの池」(モザイクガラス) 大西 達也

表紙では、毎月障がい者のアートを紹介しています。今月の作品の作者-大西 達也さん(岐阜市)は、自閉症。愛知で呉服を販売する「ほていや」に画家として雇用され在宅で活動している。2016年「第64回形象派展」で新人賞を受賞。

ぎふ清流文化プラザ [gifuseiryu-bunkaplaza](http://www.gifuseiryu-bunkaplaza)

文化芸術県民ギャラリー

第3回 tomoniプロジェクト展

9/23(土祝)~11/5(日) 9:00~17:00

「tomoniつながる和綿プロジェクト」これまでのプロセスや和綿から出来た織物などを展示します。

問合せ先 公益財団法人 岐阜県教育文化財団

TEL: 058-233-8164 FAX: 058-233-5811

<http://www.g-kyoubun.or.jp/jimk/plaza/gallery.html>



岐阜県障がい者雇用企業支援センター

〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-12 シンクタンク庁舎2階

・岐阜駅から-岐阜バスで約20分「OKBふれあい会館」下車

・西岐阜駅から-くるくるバスで約12分「県民ふれあい会館前」下車

利用時間 月~金 9:00~18:00 (祝日・年末年始は除く)



TEL: 058-215-0582

FAX: 058-215-0583

E-mail center@shougaiigyoshien.jp

URL <http://www.shougaiigyoshien.jp>